



みんなの合言葉

# 元気・根気・勇気あるふじっ子



学校教育目標 「心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

## 学校経営の基本理念

「一人一人を大切に、ひとつひとつを丁寧に」～ウィズコロナ・ポストコロナの学校を見据え～

### めざす学校像



- 時代の要請に応える教育ができる学校
- ユネスコスクール（SDGsの推進）としての学校
- 安心・安全な学校
- 理科教育の授業実践例が発信ができる学校
- 保護者、地域から信頼される学校

### めざす子ども像

- あいさつができる子ども  
＜相手の顔を見てさわやかに＞
- そうじができる子ども  
＜掃除は、自分のところ磨き＞
- 上級生として手本を示すことができる子ども  
＜リーダーとしての自覚＞

### めざす教師像



- 子どもの可能性を最大限に伸ばすことができる教師
- 子どもに「大切さ」を教えることができる教師
- 子どもに明るく接し、温かい言葉をかけることができる教師
- 個の特性を理解し、個に応じた支援ができる教師
- 保護者から信頼される教師

**明るく 仲よく 正しく**

## 研究テーマ

学びチャレンジリーディングスクール委嘱事業

自分の考えを説明することで、より妥当な考えをつくり出す  
子どもを育成するための理科学習指導の研究（藤松スタンダード）

あきらめないで  
努力する子ども

頑張る自分が大  
好きな子ども

健やかに  
学ぶ子ども

- 学習規律の徹く藤松小スタンダード
- 「わかる・できる」を実感できる学習（指導と評価の一体化）
- 各教科での資質・能力の育成と主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善（45分の授業展開の工夫）
- 情報活用能力の推進（プログラミング教育）
- SDGsの視点を踏まえた「総合的な学習の時間」等の充実
- 家庭学習及び補充学習の充実（自学ノートの作成・活用）
- 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と合理的配慮（インクルーシブ、ユニバーサルデザイン）の視点に立った指導
- 補充学習及び家庭学習の充実（3年生からの自学ノート）

- 自己肯定感に立った良好な人間関係の構築（特別活動での集団づくり）
- 「特別の教科道徳」の時間の質的向上（「私の道徳」「新版 いのち」等の活用）
- 道徳科の学習を通じた道徳性の育成（道徳的判断力・心情・実践意欲と態度）
- 北九州子どもつながりプログラムの活用
- 校内いじめ問題対策委員会の組織的対応
- 定期的ないじめアンケートや教育相談の実施（チャンス相談等の積極的生徒指導）
- 個別的な人権課題（同和問題、LGBT(Q)等）における指導計画の位置づけ
- 「北九州市特別支援教育推進プラン」に沿った特別支援教育推進体制の構築
- 「生活がんばりカード」等の積極実施
- 「キャリアパスポート」を活用したキャリア教育の推進

- 毎朝の健康チェックカードによる確認（熱37.5度以上、風邪症状等）
- 消毒等による感染症予防の徹底（換気、手洗い、フィジカルディスタンスの実施）
- 体育科の授業での振り返りの徹底
- 体力テストの結果を活用した授業改善と運動習慣の形成
- 「北九州市体力向上プログラム」の活用
- 持久走大会、なわとび集会の実施
- 健康教育（学校保健・学校安全・食育学校給食）の3本柱の視点による指導
  - ・栄養教諭を中心とした「食に関する指導」の推進
  - ・学校給食を「生きた教材」として活用（残食0、「食べることは生きること」）
- 豊かなスポーツライフの素地の育成（オリンピック・パラリンピックの活用）

## 保護者、地域から信頼される学校～「チーム藤松」を構築するための方策

### ＜地域との連携強化＞

- ・北九州市型コミュニティ・スクールとの一体的推（年2回会議の実施）
- ・保幼小中連携事業（緑丘中、西門司小、藤松保育園との連携）
- ・PTA、地域行事への積極的参加
- ・スクールヘルパー、教育ボランティアの活用
- ・防災訓練の実施

### ＜情報発信の強化＞

- ・学校からの情報発信（学級・学年、学校通信、学校HPの更新等）
- ・保幼小中連携事業（緑丘中、西門司小、藤松保育園との連携）
- ・一斉メール等の活用（不審者情報等は中学校区で共有）
- ・アンケートを活用した学校評価による学校改善

### ＜綱紀粛正の遵守＞

- ・危機管理体制の構築「さ・し・す・せ・そ」（報告・連絡・相談・記録の徹底）
- ・学校事故への予防と早期対応（首から上のケガは必ず病院へ、食物アレルギーの複数による確認）
- ・学校不祥事の根絶（個人情報漏洩、ハラスメント、体罰、飲酒運転等）
- ・教職員の人権感覚を高める校内研修（第三次とりまとめ等の活用）